

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和4年 12月 1日

公表:令和5年1月

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス十色

		チェック項目	はい (%)	いいえ (%)	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100			既定の広さ以上を確保しております。また、必要に応じて個別やグループの部屋の使用など支援に適した状態を心がけております。
	2	職員の配置数は適切である	100			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75	25		定期的にミーティングの時間を設けて、振り返りを行っております。参加できない職員への周知は議事録にて実施しております。今後も引き続き継続してまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100			この度が初めての評価アンケートになります。保護者様からのご意見を真摯に受け止め業務改善に繋げてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	87		この度が初めての公開です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	87	13		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100			研修への積極的な参加を推奨しております。内部研修は定期的開催し、職員のスキルアップを図っております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100			担当者を中心に、職員カンファレンスを定期的開催して支援内容を検討しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75	25		病院等から持参いただいたアセスメント等を支援の参考にしております。また、必要な方には当事業所での適応検査をお勧めしております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100			定期的なミーティングでプログラムについて話し合いを行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100			定期的な見直しを行い、個別の発達に沿った支援内容を検討しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100			平日と長期休暇の課題は別に設定して実施しております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100			個別とグループ活動、集団活動など個々の必要性に応じて支援に組み込んでおります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	62	38		記録ノートや申し送り等で全職員が把握できるように努めております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		100		記録ノートや申し送り等で支援にあたる職員が把握できるように努めております。また、職員ミーティングで共有するよう努めております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	75	25		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	75	25		定期的に保護者様との面談を行い、モニタリング内容を反映できるよう、計画書の見直しを行っております。今後もいたします。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100			児童発達支援管理責任者が参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100			保護者様の同意をいただき、必要に応じて連絡調整しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	13	87		対象者があれば必要に応じて検討してまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	87	13		保護者様の同意を頂き、必要に応じて関係機関との情報を共有しております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50	50		対象者があれば必要に応じて検討してまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100			大学の発達の専門家との定期的なカンファレンスを実施しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25	75		今後の感染状況を踏まえて検討を重ねてまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	75	25		人員配置に留意しながら、管理者が参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100			連絡帳やLine、電話、リモートなど利用してお会いする時間が少ない保護者様とも連絡を取り合えるように心がけております。いつでも気軽にご相談ください。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	25	75		ご要望があればグループ開催を検討してまいります。現在は個別でお伝えさせていただいております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100			契約時にお伝えしております。ご不明な点は、いつでもご連絡ください。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100			今後も継続して行ってまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		100		ご要望があれば、感染状況を踏まえたうえで検討を重ねてまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100			随時お知らせを発行しております。
	35	個人情報に十分注意している	100			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	25	75		各関係機関との連携は必要に応じて担当者とさせていただきます、行事ごとは利用児童のみで開催させていただいております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100			必要に応じて周知しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100			定期的に訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100			内部研修を定期的に行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	50	50		対象者がいないため実施していませんが、必要に応じて実施いたします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100			保護者様にお伺いしております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100			全職員が閲覧できる環境を整えております。